学校図書館活用支援事業

学校図書館活用のガイダンス

平成29年度

滋賀県立図書館

なぜ今「学校図書館」なのか

学校教育において欠くことのできない基礎的な設備

学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる
（学校図書館法）

学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童と生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること
（学習指導要領総則）

学ぶ力を育てるために…

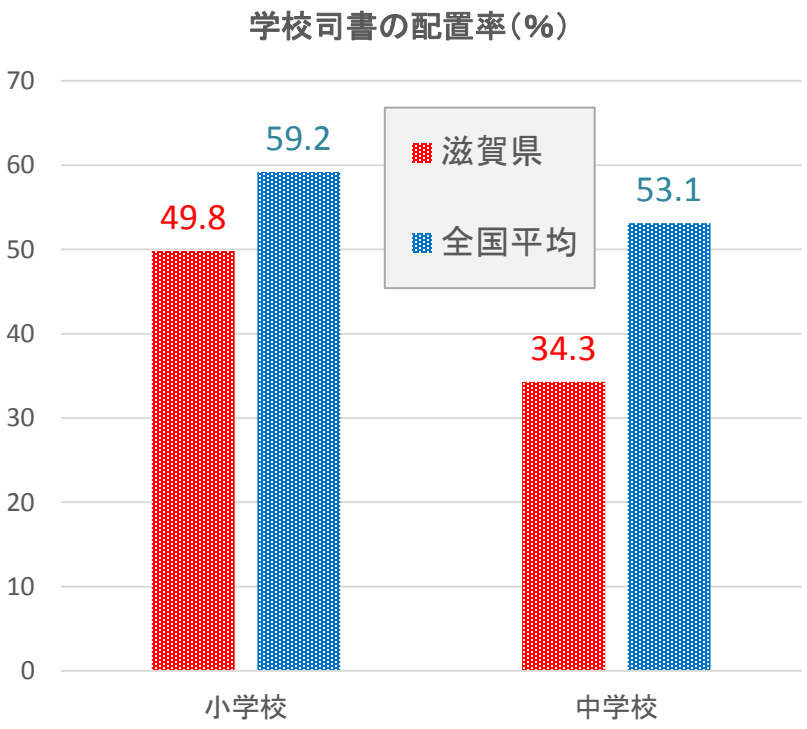
児童生徒が主体的に学べる学校図書館環境の整備

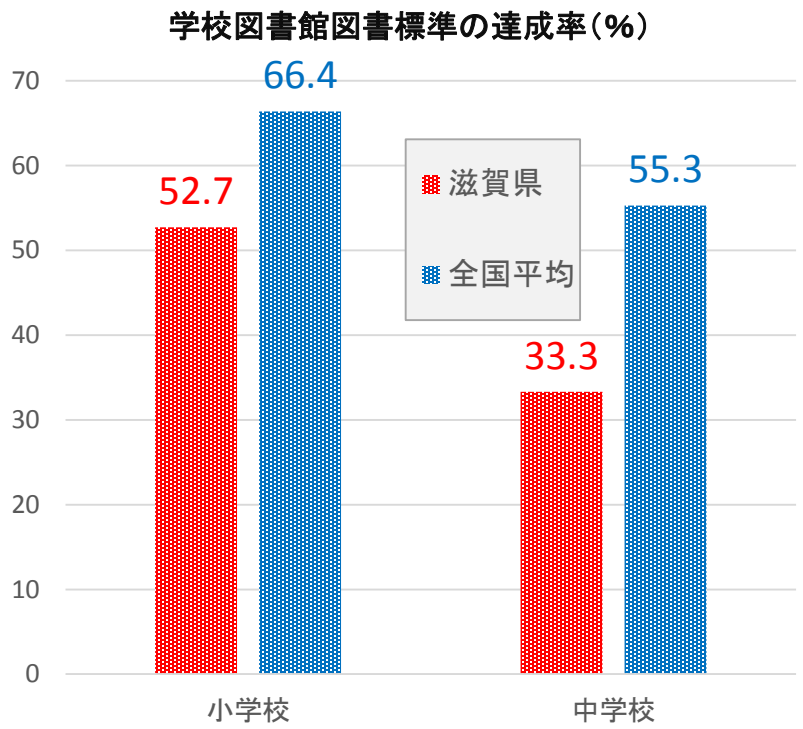
が求められている！

滋賀県の学校図書館の現状

全国平均との比較

「学校図書館の現状に関する調査」（文部科学省）から作成
※数値は全て公立学校によるもの





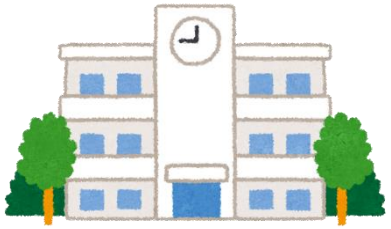
平成28年度調査より

学校図書館リニューアルの趣旨

課題

・学習に必要な図書がそろっていない。どんな資料が必要か把握されていない
・教育課程における図書館活用計画が整備されていない
・授業を行える環境づくりが不十分
・地域（家庭、ボランティア、公共図書館など）との連携の強化

学校図書館リニューアル



・**児童生徒に身近な「読書センター」と、学習活動を支援する「学習センター」と、情報資源を活用する「情報センター」の３つの機能を満足させる**
・**蔵書を分類順に整理し、適切な見出しをつけ、授業を行える空間を確保するなど、学校図書館を活用しやすい環境に整備する**
・**学校図書館の環境整備や、読書活動および学習活動の支援を通じて地域の連携を深め、学校図書館活用の普及を図る**

学校図書館の機能

読書センター

読書活動や児童生徒への読書指導をする

学習センター

児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする

情報センター

児童生徒や教職員のニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする

日本十進分類法による本の分け方

1. 類に分ける

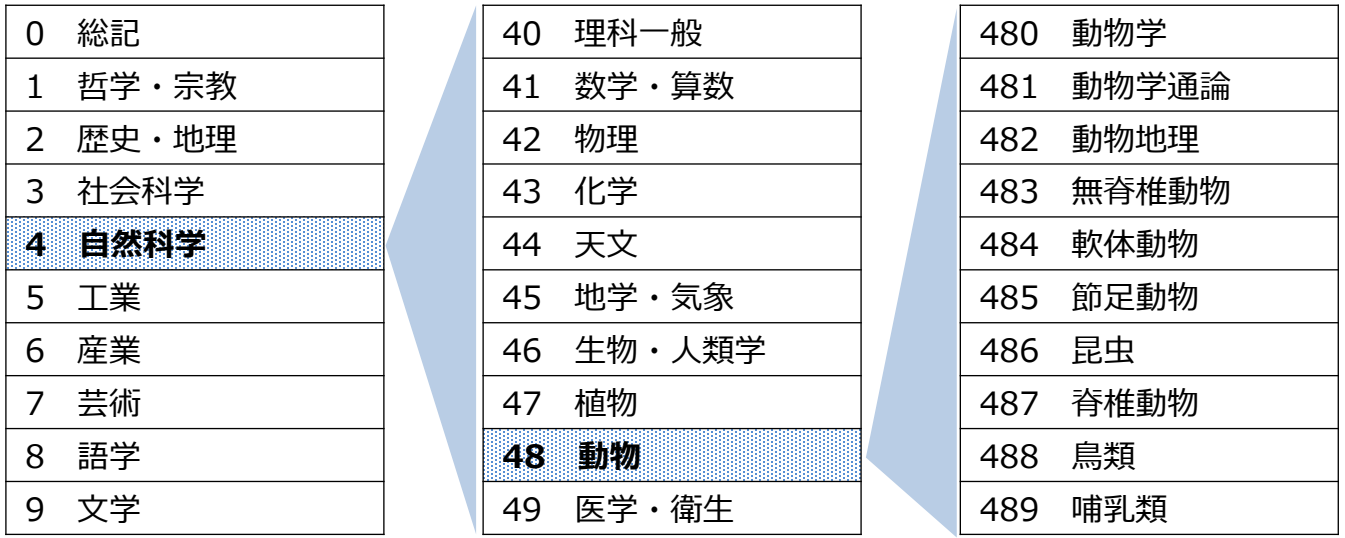
資料全体を10の「類」に分けます。

2. 類を綱に分ける

類を10に細分します。これを「綱」といいます。これで100に分類したことになります。
細分することで、主題別にまとまりができ、資料が扱いやすくなります。

3. 綱を目に分ける

綱をさらに10に細分します。これを「目」といいます。これで1000に分類したことになります。
動物や日本文学などの蔵書が多い分野では、綱だけでは資料のまとまりに欠けるため目まで分類すると効果的です。
小学校は綱（2桁）まで、中学校は目（3桁）で分類することが多いです。



所在記号（請求記号）とラベル

基本方針

同じ内容の資料は、同じ分類記号にまとめて並びます。
同一分類の中でさらに細かく分けて並べたいときに、助記号（著者記号）を付けます。

・分類記号は基本的に**3桁**（綱）を付けます。

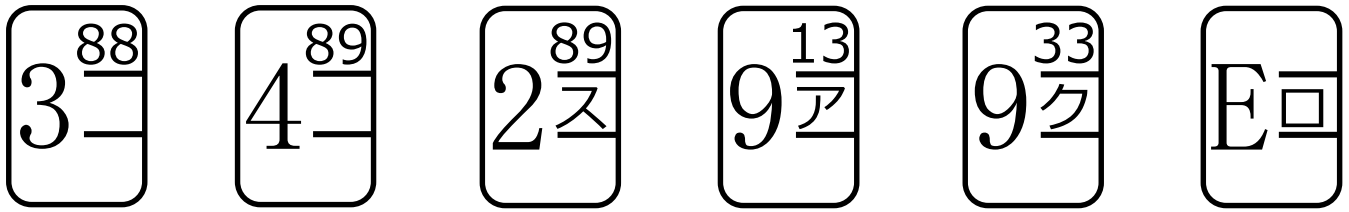
・個人伝記（289）、絵本、文学（9類）について、**助記号**を付けます。

9類や絵本の助記号は、著者の姓またはファミリーネームの頭文字を付けます。伝記は、被伝者の頭文字を付けます。

（例）「菅原道真の伝記」→【289 ス】

「羅生門」（芥川龍之介著）→【913 ア】

「そして誰もいなくなった」（アガサ・クリスティ著）→【933 ク】



・シリーズもの、図鑑（030）について、各冊が独立した分野を扱っている場合は、各分類ごとに記号を付けます。

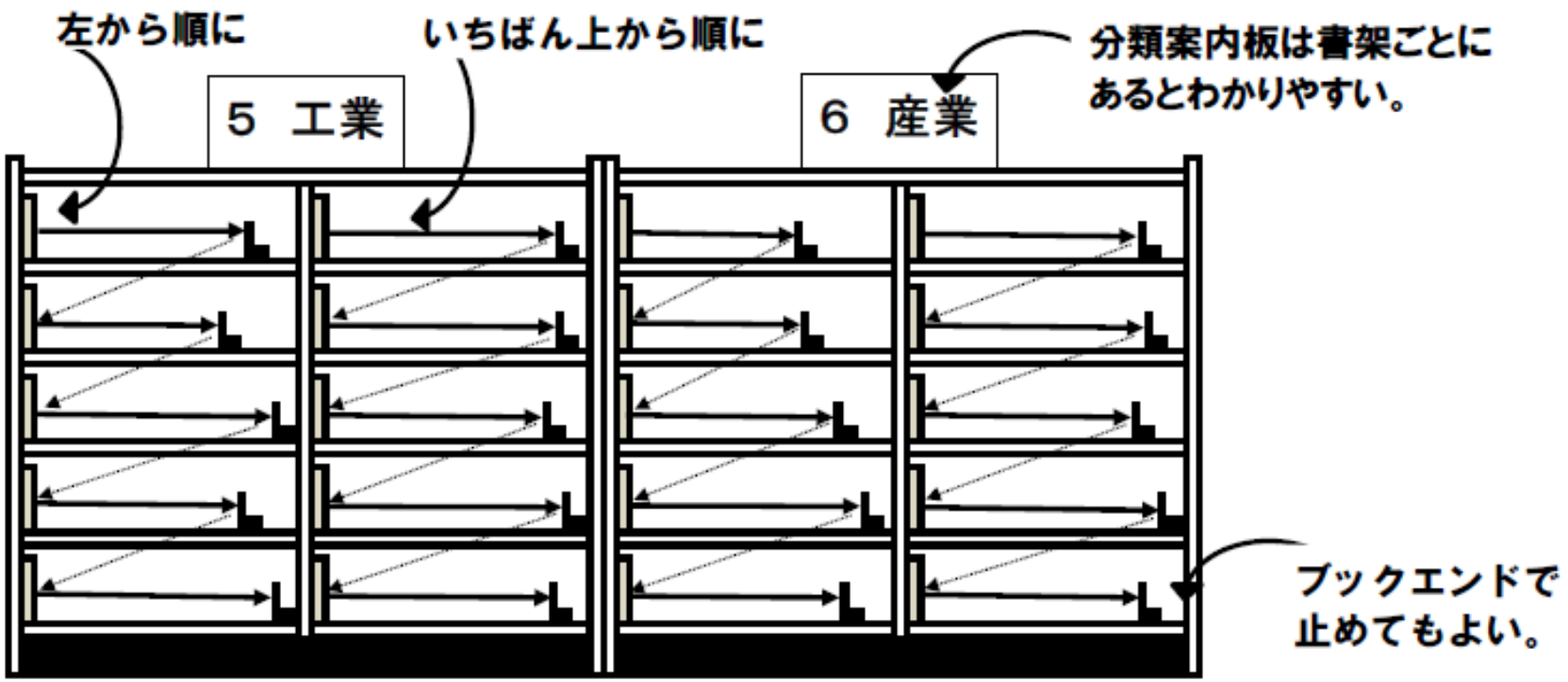
・漫画でも、ストーリー性の強いものは主題ごとに分類することがあります。

（例）「マンガで読む百人一首」→【911 マ】

「はだしのゲン」→【913 ナ】

各学校で統一性をもたせることが大事

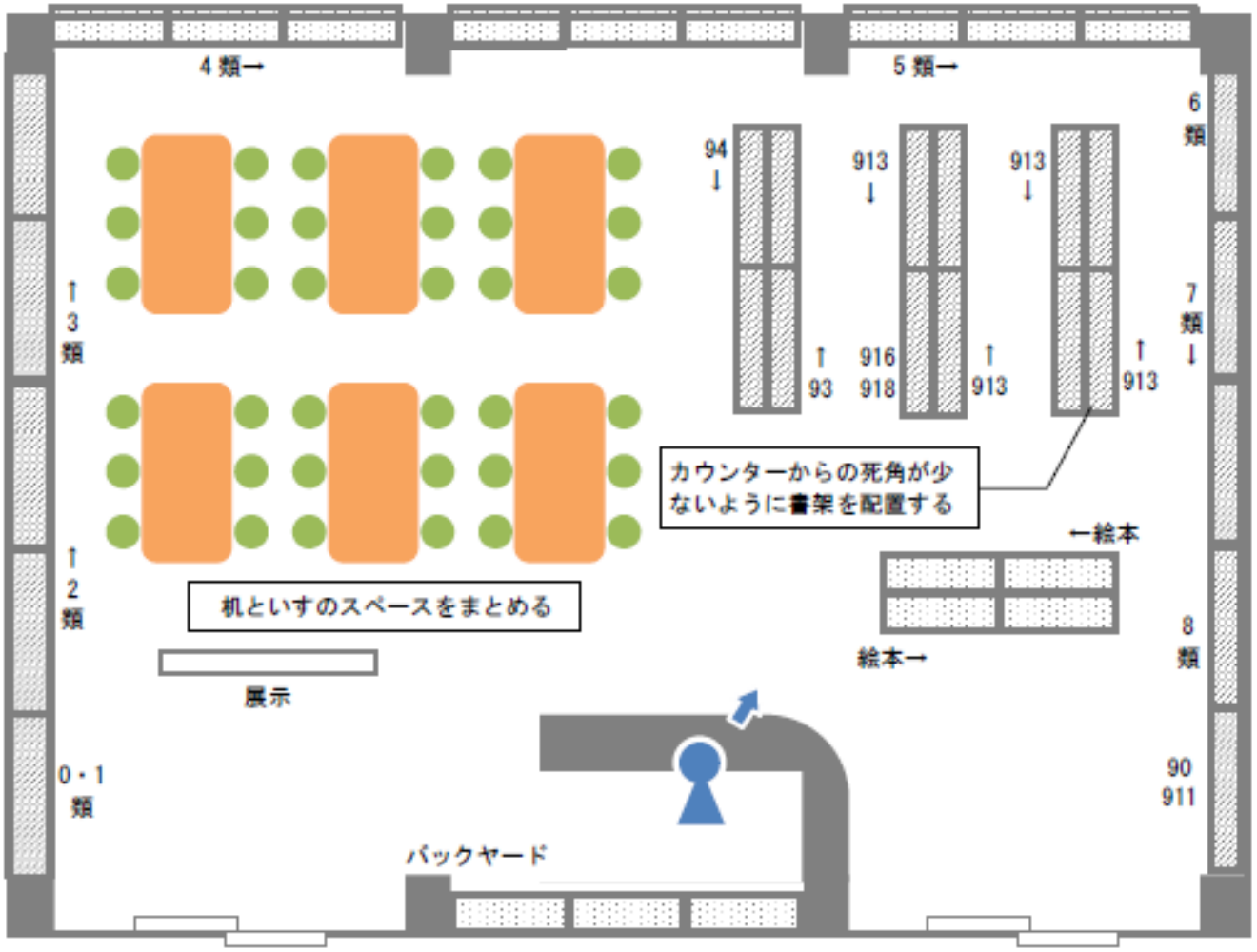
配架の仕方


左から順に
いちばん上から順に
分類案内板は書架ごとに
あるとわかりやすい。
５　工業
６　産業
ブックエンドで
止めてもよい。

書架の配置（図書館内図）

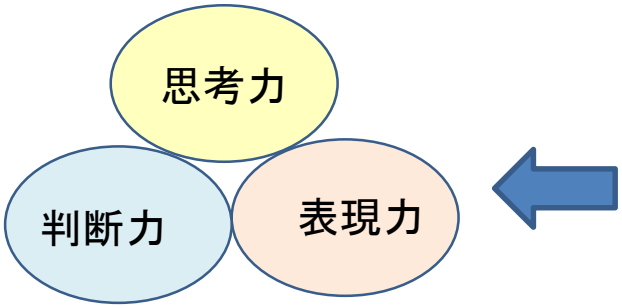
・原則として、入口の左側から時計回りに0～9類が並びます。

・読書スペース（9類、絵本）と学習・情報スペース（0～8類）を設けて授業を実施できる空間を確保します。



学習に生かす学校図書館アクティブラーニングで培いたい力

培いたい力



アクティブラーニング

（主体的・対話的な深い学び）

主体的・協働的な問題発見
問題解決の場の経験

学校図書館の役割

資料の提供・場の提供
学習支援

探求学習

物事の意義や本質を見極めようとする過程を通し、
知識を獲得するだけでなく、汎用的な能力、思考力を育成する学習

調べ学習と探求学習

調べ学習

特徴

・調べて整理して報告することによる学習
・調べることに重点を置き、答えを見つけることによる学習
・答えは迷いなく見つけられることが多い学習
・見つけた答えによって知識が増える学習

調べることによる学習

利点・欠点

・調べることにより、知識が増えるだけでなく、それが定着する。
・調べること自体（調べるスキル）を学ぶことができる。
・答えを調べ、写す学習に陥りやすい。

探求学習

特徴

・自らの問い（問題意識）に関する答えを求めることによる学習
・探求プロセスを大切にし、問いを探求し続ける学習
・明確な答えが見つけられないことも許容される学習
・知識が増えるだけでなく、新しい疑問により探求のサイクルが回る学習

考えることによる学習

利点・欠点

・問いに対して考えることにより、思考力などの汎用能力が身につく。
・基本的な調べ学習ができないと、探求学習はできない。
・適切な指導がないと、迷宮に陥る学習になる。

学校図書館の支援（探求の過程に寄与できること）

学習のプロセス	学習目標	学校図書館の支援
決める	テーマに関する知識を増やす。 テーマを絞る。	テーマに沿った関連本の収集　ブックトーク パスファインダーやリストの作成　百科事典の使い方の指導 資料提供・レファレンスサービス
問う	テーマに関する問いをつくる。	考えるためのツールの提供（ワークシートなど） 資料提供・レファレンスサービス
集める	問いの答えになりそうな情報を探す。	学校図書館の利用指導やネット検索のなど指導 資料提供・レファレンスサービス
考える	情報を読み解く。 問いの答えを明らかにする。	読書方法の指導　引用・要約についての基本の指導 資料提供・レファレンスサービス
創る	問いの答えを他者に伝える。	レポート作成法の指導　プレゼンテーションの方法の指導 資料提供・レファレンスサービス
振り返る	探求の道筋や成果を評価する。 残された課題を確認し、新しい問いを見つける。	評価表の提供　まとめのブックトーク 発展的なブックリストの発行 資料提供・レファレンスサービス 学習成果物（作品）の展示・掲示・保管

出典：『思考力を深める探求学習』　桑田てるみ　著
アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館　出版　全国学校図書館協議会
2016,10,31

情報の活用能力

1. 学校図書館メディアの種類

・印刷メディア・・・図書、雑誌、新聞、リーフレットなど

・視聴覚メディア・・写真、絵画、図表、ポスター、CD、DVDなど

・実物資料・・・・・模型、標本、児童生徒が制作したレポートなど

・電子メディア・・・官公庁の白書・統計、有料データベース、電子書籍、デジタル教科書など

⚠ インターネット上のメディアの問題点

・多くの情報が簡単に手に入るが、必ずしも体系化されていない。

・情報源の不明瞭な情報が、様々な場所で形を変えて掲載されている。

入手した情報の評価や判断を児童生徒自らできるように指導が必要

リンク集：学校行事や調べ学習の課題に沿っているか
自治体や省庁など公的な機関・団体が作成しているか
定期的に更新されていて、内容が信頼できるか

フィルタリング：
有害な情報を除去する仕組みがあるか

情報の活用能力

2. 本の探し方の指導

① 図書館の配置図を見て、どのあたりに求める資料がありそうか見当をつける。

② 書架の表示を見て、書架を見つける。

③ 本のラベルや書名などを見ながら、気になる本を手に取る。

④ 目次や前書きを読み、必要な情報のページを探す。

3. 図鑑で調べる

① 目次（巻頭）から本の構成や内容をつかみ、調べたい事柄を探す。

② 索引（巻末）で調べたい言葉から調べたい事柄を探す。

4. 百科辞典で調べる

①-1 「背」を見て、調べたい言葉が載っている巻を手に取る。

①-2 「つめ」を見て、調べたい項目の初めの文字を見つける。

①-3 「柱」を見て、調べたい言葉が載っている場所に見当をつけ、見出し語を探す。

② 索引（巻末）や総索引を使って、調べたい言葉を探す。

③ 「を見よ参照」「をも見よ参照」を活用して、関連項目を調べる。

情報の活用能力

5. 集めた情報を記録するスキル

・「引用」と「要約」

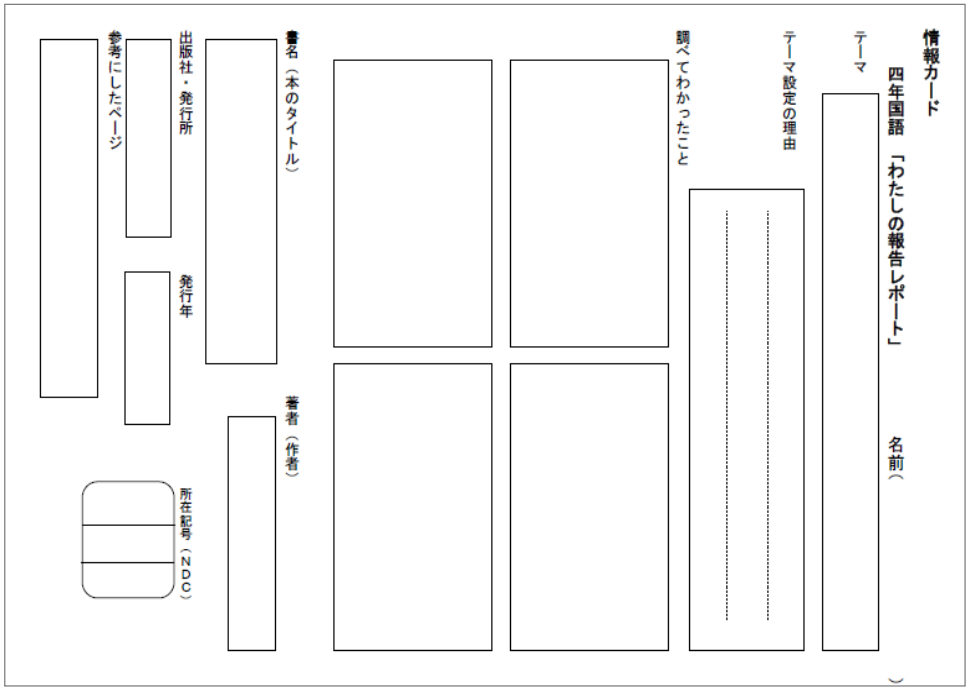
引用：必要な部分をそのまま抜き出し、「　　」で囲んで自分の考えと区別をする。

著者名、書名、出版者、発行年、引用元のページなどを（　　）で囲んで記す。

要約：伝えたい情報を簡単にまとめ、自分の言葉で表現する。

6. 集めた情報を整理・分析する

・「情報カード」を活用して、集めた情報を整理して、共有する。



ワークショップ

学習で使う資料を探してみましょう!!

読書イベントの実践

1. 「読む」「語る」

・朝の一斉読書　：毎朝数分間、学校全体で読書の時間を設ける
・1分間スピーチ：朝の会で輪番制で一人ずつスピーチを行う
・ブックレビュー：授業開始2～3分程度で、教師が児童生徒に本の紹介をする
・読書感想文発表：国語の授業で、毎時間一人ずつ読書感想文を発表する
・ビブリオバトル：発表参加者がそれぞれ本を紹介した後、聞き手が読みたくなった本に投票し、チャンプ本を決める

2. 「考える」「書く」

・読書ノート　　：日常的に読書活動の記録をする
・読書感想文　　：まとまった長さ（800～1200字程度）の読書感想文を書く
・読書レポート　：本で調べた内容を報告する文章を書く
・本の紹介　　：本の帯やPOP、ポスターセッションなどを実践する

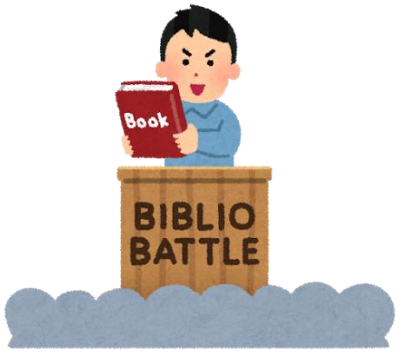
読書イベントの実践

3. 「集まる」「書く」

・読み聞かせ　　：幼児や小学生を対象に、本の読み聞かせを行う
・読書イベント　：地域のイベントに参加して、読み聞かせや遊びを行う
・読書会　　：1冊の本を友だちと語り合ったり、おすすめし合ったりする

4. 「広がる」「つながる」

・校内展示　　：作った帯やPOP、ポスターなどを展示する
・委員会活動　　：委員会活動の内容を紹介する
・冊子作り　　：図書館のガイドブックを作る
・広報活動　　：「図書館だより」などを掲示、配布して学校図書館をアピールする



参考資料
高見京子著『読書イベントアイデア集 中・高校生編』全国学校図書館協議会，2014

「学校図書館活用年間計画」の作成

学校図書館を活用した年間指導計画（小学校　国語以外全教科１学期　　　　　指導計画

	４月		５月		６月		７月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
１年	★がっこうだいすき(生活) がっこうをたんけんしよう	○学校図書館の場所 オリエンテーション(国語科) 「いちねんせいのがっこうたんけん」 「がっこうたんけんしようがっこうだいずかん」 「せいかつかのえほん1」 「ぼくたちがっこうたんけんたい」	★がっこうだいすき(生活) がっこうにいるひとと なかよくなろう	○「あいさつしましょう」 「場面でわかるただしいことばづかいと敬語」 「21授業のネタ道徳1」 ○学校図書館行事 読み聞かせを聞いて楽しむ 図書館のイベントを楽しむ クイズラリー 読書の日	★きれいにさいてね(生活)	○「おばあちゃんとはなのてぶくろ」 読み聞かせ 「花のひみつ」 「しょくぶつのさいばい」 「教科書に出てくる生き物観察図鑑2」 「学校でできる虫の飼育と栽培」	★なつだ　あそぼう(生活)	○なつのあそびずかん 「なつのあそび」 「夏の遊び　工作　プール　野外遊び 科学遊び　ベストセレクション」
２年	★春だ　今日から　2年生(生活) 春を　さがそう	○「春をさがそう」 「はるなつあきふゆ」 「植物のふしぎ」 「しぜんたんけんずかん」 「みいつけた！みぢかないきもの」 「学校のまわりでさがせる生き物図鑑」 「学校のまわりでさがせる植物図鑑」 「さがそう生きものかくれんぼ」	★おおきくなあれわたしの野さい 野さいのことをまとめよう(生活)	○トマトの成長についてのブックトーク と読み聞かせ 「おどろきいっぱいトマト」 「しぜん・トマト」 「育て・発見『トマト』」 「ミニトマト実のなる植物の栽培」 「まるごとトマト」 「くだものやさい」	★どきどきわくわくまちたんけん まちたんけんの計画を立てよう(生活)	○地域資料「わたしたちの○○市」 「ディズニーたのしいきょうしつ」 「2年生の生活科たんけんだいすき」 「町たんけんはたらくひとみつけた」 「地図をつくろう まちたんけんに出発しよう」	★生きもの　なかよし　大作せん 生きもののことをつたえよう(生活)	○生きもの図鑑 「池や小川の動物たち」 「水辺の自然　遊んで学ぼう」 「学校の飼育　飼育活動　飼植え メダカの採集からビオトープまで」 「教科書に出てくる生き物観察図鑑5」
３年	★春のしぜんにとび出そう(生活) ★わたしたちのまち　みんなのまち 学校のまわり　(社会)	○「ふれあい自然図鑑」 「身近な自然　ビオトープ」 「学校のまわりでさがせる植物図鑑」 「身近な植物と友だちになる本」 ○「社会のふしぎなぜ？どうして？3年生」 「新しい小学生の社会見学」 「さがしてみようまちのしごと」 「商店街へGO!」	★こん虫(チョウ)をそだてよう (理科)	○チョウの種類や育て方の本 「モンシロチョウの観察」 「チョウの飼育観察」 「これはなんのようちゅうかな？」 「昆虫図鑑調べてみよう名前のひみつ」 「ぜんぶわかる！モンシロチョウ」	★円と球(算数) ★わたしたちのまち　みんなのまち 市の様子　(社会)	○円や球の形が載っている本の提供 「目で見る算数の図鑑」 ○昔の様子・建物 地域資料「わたしたちの○○市」 「町のくらしのうつりかわり」 「町の施設たんけん」 「まんが総合学習ガイドブック3年生」	★こん虫を調べよう(理科) ★わたしたちのまち　みんなのまち 市の様子　(社会)	○「飼える　昆虫図鑑」 「飼い方完全ガイド学校で飼う身近な生き物」 「教科書に出てくる生き物観察図鑑」 ○白地図にまとめる 「地図をつくろう」 「最新記号の図鑑」 「地図から『よのなか』を見てみよう」 「調べて遊ぼうこの地図だれのもの」
４年	★くらしを守る(社会) 火事からくらしを守る 地震からくらしを守る ★あたたかくなると(春)(理科)	○防災に関する図書資料 「行ってみよう社会科見学」 「社会科見学・体験学習」 「仕事がよくわかる 社会科見学」 ○「自然観察」 「植物の観察」 「学校のまわりの草木図鑑　春」	★くらしを守る(社会) 事故や事件からくらしを守る ★動物のからだのつくりと運動 (理科) ★一億を超える数(算数)	○「みんなで防災アクション」 「現場で働く人たち」 「お仕事ナビ　人を守る仕事」 ○図鑑、人体に関する図書資料 「ずかんたね　見ながら学習調べてなっとく」 ○年鑑、統計資料、天体に関する図書資料	★住みよいくらしをつくる(社会) 水はどこから ★電気のはたらき(理科) ★暑くなると(理科)	○「川の総合学習」 「仕事がよくわかる社会科見学浄水場」 「写真で分かる小学生の社会科見学浄水場」 「地球の未来と水」「水資源を考える」 「水はどこから来るの？水と自然と生活」 ○4年生の理科実験 ○「自然観察」 「学校のまわりの草木図鑑　夏」	★夏の星(理科)	○「教えて！21世紀星空探検隊」 「かならず見つかる星座の本」 「星座を探そう」 「天体観測の達人」 「見える！さがせる！星・星座観察ブック」 「よむプラネタリウム 夏の星座案内」
５年	★わたしたちの国土(社会) 国土の地形の特色 ★天気の変化(理科)	○「絵で分かる社会科事典」 「日本の国土とくらし1～8」 「日本列島、水平とったら？ビジュアル 地形案内1～3」 「探検・発見わたしたちの日本」 「立体地形で見る日本の国土とくらし」	★私たちの国土(社会) 国土の気候の特色	○「調べ学習に役立つ社会科データブック」 「日本地理ポプラディア情報館」 「日本のすがた8」	★魚のたんじょう(理科)	○「動物のふしぎな世界」 「一生の図鑑」 「いのちのかんさつ」 「うまれたよ！メダカ」 「ぜんぶわかる！メダカ」 「メダカ　小川や田んぼにすむ魚」	★米作りのさかんな地域(社会) ★わたしの研究(理科)	○農業や米作りに関する資料 「お米ができるまで」 「米のプロに聞く！米づくりのひみつ」 「日本の農林水産業農業1」 ○「やってみよう夏休みの自由研究5・6年」 「わくわく理科タイム 不思議いっぱいサイエンス」
６年	★日本の歴史(社会)4月～11月 歴史を図書で調べよう ★対称な図形(算数)	○【2】類の図書紹介と資料の 読み方・扱い方(出典) 「日本の歴史ポプラディア情報館」 ○「算数おもしろ大辞典」 「算数なるほど大図鑑」 「算数の探検　形とあそぼう」 対称な図形(国旗、市章、模様、記号 旗印、家紋、校章など)の本	★日本の歴史(社会)4月～11月 ★動物のからだのはたらき(理科)	○「歴史なるほど新聞」 「テーマで調べるクローズアップ 日本の歴史」 ○「人のからだ」 「動物のからだ」 「くらべよう！人と動物のからだ」	★日本の歴史(社会)4月～11月 ★植物のからだのはたらき(理科)	○「新　日本の歴史」 ○「小学生の理科教室」 「6年生の理科実験」 「植物のからだ」	★日本の歴史(社会)4月～11月 ★ポスターで表現しよう(図画工作) ★生き物のくらしと環境(理科)	○図鑑や写真集などの図書資料 ○「ポスターをつくろう」 ○「フィールドワークで総合学習 自然環境体験シリーズ」 「学校のまわりの自然観察」 「川と探検」

授業での活用実践事例（H27年度・H28年度）

平成27年度「学校図書館活用支援事業」検証授業一覧表（小学校の部）

1年	2年	3年	4年	5年	6年
●国語 すきなものがたりを見つけよう 「くじらぐも」 2015. 11. 4 好きな本を見つけて、紹介カードを作って、本を紹介する。	●国語 「すごいぞ○○」のクイズを作って出し合おう ビーバーの大工事 2015. 11. 25 調べたい動物の本を探し、その本の中で「すごいぞ」と思うところを見つけ、クイズの形でまとめる。	●国語 「はたらく犬もの知りカード」をつくって事典にしてみんなにしょうかいしよう 2015. 10. 30 働く犬の中から、一つ選んで調べ、「はたらく犬もの知りカードを作り、事典にする。	●国語 わたしの研究レポート 2016. 2. 4 日ごろの生活の中から調べたいことを見つけ、図書を使って調べ、報告するレポートにまとめる。	●国語 詩の楽しみ方を見つけよう 2016. 1. 19 詩の本からクイズになりそうな詩をグループで一つ見つけて、まとめ、発表する。	●理科 大地のつくりと変化 2015. 12. 1 火山活動と地震の2グループに分かれ、図書を使ってデジタル紙芝居を作り、5年生に紹介する。
	●生活 図書館へ行こう 2016. 1. 18 学校図書館のルールやマナーを視覚資料を使って説明した後に、個人的に本を見つけたり、グループごとのワークシートで分類記号を参考に本を探す。	●国語 本で調べて、 ほうこくする文章を書こう 2016. 1. 26 2016. 2. 12 ことわざについて調べて、レポートにする。 児童が本を持ち寄ったり、国語辞典を使用したりする。		●社会 百科事典で調べて、 必要な情報をまとめよう 私たちの生活と環境 2016. 2. 23 環境破壊・森林資源・世界自然遺産・水俣病・公害・地球温暖化の6つのテーマで調べて、グループで序論・本論・結論の形でまとめ、発表する。	●総合 「平和」について考える 2015. 10. 8 戦争について調べ、調べたことをタブレット端末にまとめ、交流する。
●特活（全学年：1年4年5年6年） 図書ラベルの秘密を さがそう 2015. 12. 10 自分たちの図書コーナーがどのように変わったかみつけ、図書ラベルの秘密をさぐる。その後、分類記号の意味を確認し、個々の探す本を分類記号をもとにさがす。		●国語 れいをあげて せつめいしよう 2015. 12. 3 調べたい材料を選び、どんな食品にすがたを変えているかを調べ、わかりやすい文章の組立て（初め・中・終わり）を考えて、文章にする。		●学活 リニューアルされた図書館の使い方を知ろう 2016. 1. 15 図書館の使い方を学習した後、図工の版画に使う本を探し、場所を見当付け、探し、本の資料をスケッチする。	

平成28年度検証授業一覧表(小学校の部)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
●国語 むかしばなしが いっぱい 2016. 12. 7 昔話について知り、日本の昔話と外国の昔話の中から好きな本を読む。読んだ本の好きな場面について紹介する。	●国語 かたかなで書くことば 2016. 11. 11 図書館の本を使って、カタカナで表す言葉を集める活動。 絵本「ブレーメンの音楽隊」の読み聞かせの後、その絵本に出てきたカタカナを発表し、4つのカテゴリー(外国の地名や人名・外来語・擬声語・擬態語)に分類する。その後、図書の本を使ってカタカナで表す言葉を見つけ、発表し、4つのカテゴリーに分けていく。最後に、振り返りとして、2・3名の事後の感想を発表する。	●国語 れいをあげながら「すがたをかえる食材」についてせつ明する文章を書こう 2016. 12. 12 まずは、分かりやすい説明の仕方を知る。 そして、魚・米・麦・トウモロコシ・牛乳・いもの中から調べる材料を一つ決め、図書を使って食品の例を集め、それを使って説明文を書く。 その際、同じ食材を選んだ者で構成されたグループで、助言などの交流を持つ。	●国語 だれもが関わり合える工夫を調べ分かりやすく発表しよう 2016. 10. 5 自分が調べたい「だれでも関わり合える工夫」を調べ、ポスターセッションで発表する。 児童から決めたテーマ ・手話 ・白杖 ・介助犬 ・盲導犬 ・点字 ・点字ブロック ・聴覚障害 ・義手義足	●国語 グラフや表を用いて書こう 2016. 10. 31 私たちの社会はくらしやすい方向に向かっているのか、いないのか、自分の立場を決めて、それを裏付ける図やグラフや表を見つけ、それを用いて、自分の考えが伝わるような文章を書く。 向かっている16名:接種・科学の発達 平和 向かっていない13名:いじめ 環境破壊 物の増加	●社会 世界に歩み出した日本 2016. 11. 7 この時間は、まとめの学習の時間で、今まで(5時間)に学習した人物をグループで分担してさらに詳しく調べ、条約改正、日清・日露戦争、国際的地位の向上、民主主義の4つの言葉に関係づけて関係図を構成する。 キーパーソン(6人) ・陸奥宗光・小村寿太郎・東郷平八郎・野口英世 ・与謝野晶子・平塚らいちょう 調べられたら(7人) ・田中正造・新渡戸稲造・樋口一葉・夏目漱石 *北里柴三郎・志賀潔・市川房枝
●生活 もうすぐ 2年生～ようこそあたらしい1年生～ 2017. 1. 26 新1年生を迎える会に向けて、自分が必要としている図書を探し、その図書を活用して、新1年生が喜ぶ遊びやプレゼントを考える。 グループで考えたプレゼント ・手裏剣 船 ・風船 ・カードケース ・ペンギン ・星飾り・紙飛行機・手裏剣 ・カメラ ・犬 (すべて 折り紙)	●国語 むかし話をしょうかいしよう 2016. 12. 8 いろいろなむかし話を読んで、おもしろいところをみつけ、カードに書いて友だちに紹介する。	●国語 たくさんのふしぎを調べて交流しよう 2017. 1. 19 教材文「ありの行列」で学んだことを生かし、自分のテーマとなる科学読み物を読んで紹介する活動 選んだジャンル ・食虫植物 ・パンダの秘密 ・たまごの秘密 ・セミの秘密 ・ウサギの秘密 ・カマキリの秘密 ・ラッコの秘密 ・塩・砂糖の秘密 ・イルカの秘密 ・ザリガニの秘密 ・磁石の秘密 ・キリンの体の長さ ・ライオンの秘密	●国語 調べたことを整理して発表しよう だれもが関わり合えるように 2016. 11. 29 各自で課題を考えた後グループで話し合って課題を決める。各グループ2・3個の課題をグループで調べ、発表できるようにまとめる。 主な課題 ・点字の役割 ・点字が使われているものや場所 ・点字ブロック ・いろいろなあいさつ ・耳の不自由な人はどんな方法で伝えるか		
●学級活動 "ワンダーランド"図書室で楽しくすごそう 2017・1・24 1年生の児童図書館で知っていることを紹介し合った後に、たんていゲームをし、その後、図書を借りる。「この本をさがせ！」というたんていゲームで、指定図書の題名と分類記号から指定図書を見つけ、学級みんなに紹介するゲーム。図書を探した際、文字が1文字ずつ入っており、つなげると、図書の思いが書かれているメッセージになる。		●国語 本で調べて、ほうこくする文章を書こう 「ことわざについて調べよう」(光村出版) 2017. 2. 14 ことわざについて、図書や国語辞典を使って調べ、報告する文章を書く。 個人の主なテーマ ○漢数字が入ったことわざ ○犬・さるなどの言葉がはいったことわざ ○繰り返しの表現があることわざ	●国語 詩を楽しもう～感じた思いを伝えよう 「詩のボクシング」に挑戦!!～ 2017. 2. 9 たくさんの詩を読んだ後、グループで発表詩を選び、詩の表現の仕方を工夫し、グループ対抗「詩のボクシング」をおこなう。 選ばれた詩の作者 ・島田陽子 ・たかはしけいこ ・ねじめ正一 ・まど・みちお ・岸田衿子		

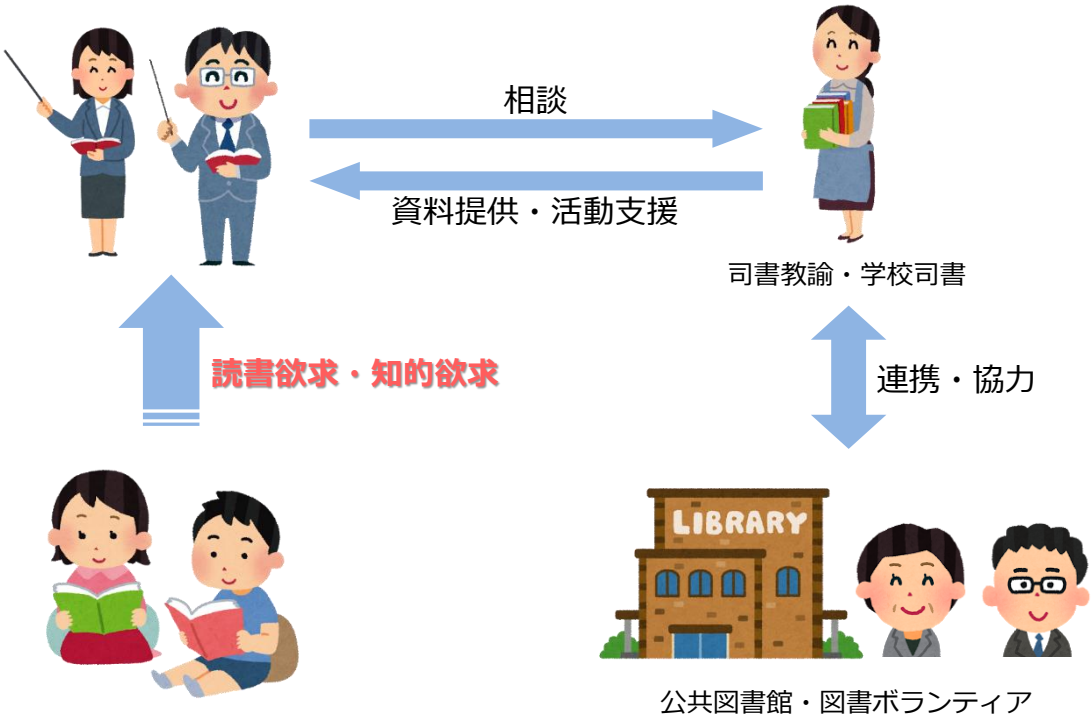
「図書館活用委員会」の設置

（事例紹介）

・構成員　　：学校長、教務主任、研究主任、司書教諭、各学年1名、学校司書、支援員

・開催日程　　：各学年の授業活用計画に基づいて、月1回程度の招集

・活動内容　　：



「親しみやすい図書館」「生きた図書館」づくりを目指そう！

学校司書の役割と支援

学校司書とは

学校図書館を運営していくために必要な専門的・技術的職務に従事するとともに、学校図書館を活用した授業やその他の教育活動を司書教諭や教員とともに、進める役割を担う。

具体的な業務

1児童生徒や教員に対する間接的支援
- ・図書館資料の管理・・・蔵書の把握、点検、選書、装備、除籍
- ・図書館の環境整備・・・施設、設備、配架
- ・家庭、地域、公共図書館等教育施設との連携

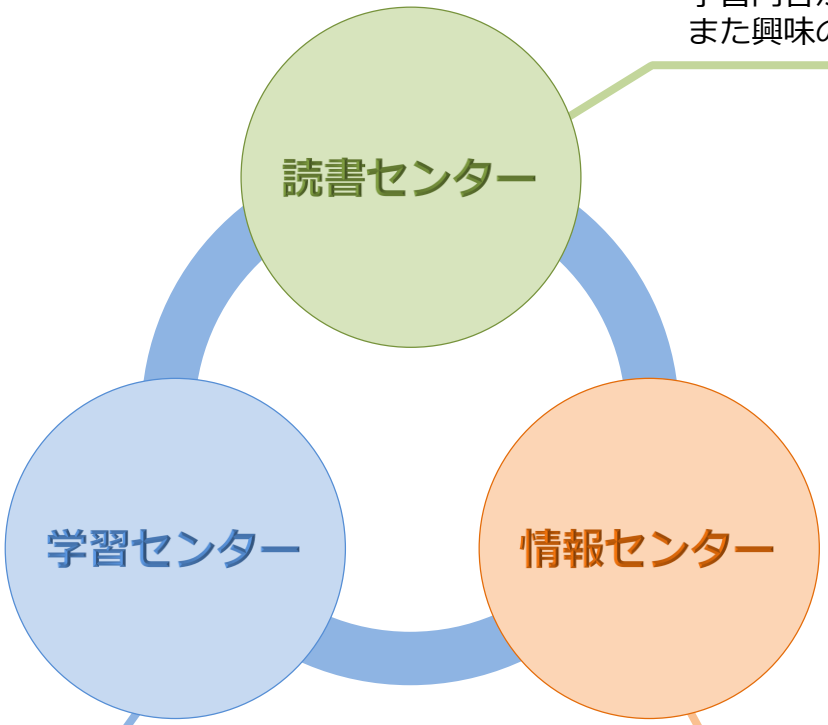
2児童生徒や教員に対する直接的支援
- ・利用案内、資料の貸借
- ・資料相談、情報提供
- ・読書推進活動・・・読み聞かせ、ブックトーク、新刊紹介、テーマ展示　等
- ・図書館行事

3教育目標を達成するための「教育指導への支援」
- ・学校図書館のオリエンテーション（図書館利用ガイダンス）
- ・資料展示や委員会、クラブ活動への助言、指導に関する支援
- ・学習活動の支援・・・教材準備の支援、資料提供、レファレンスサービス
  ティームティーチング　　等

豊かな心と学びを育てる学校図書館へ

環境整備（リニューアル）は最初の一歩

学びに活用できる学校図書館へ



学習内容から興味を持った分野へ、
また興味のある著者へと読書を広げる。

学習の場として図書館を利用することで、自ら発見した「知識」と「学び」を結びつける。

地域との連携により、公共図書館も含めた幅広い資料を活用できる。家庭や公共図書館でも情報を適切に扱える技能を養う。